

18日に日比野賞マラソン

ハーフは谷川真理さんも

豊橋

第五十五回日比野賞中日豊橋マラソン大会(愛知陸上競技協会、豊橋市、中日新聞社主催)と第二十五回中日豊橋ハーフマラソン大会(市、愛知陸協東三河支部、中日新聞社など主催)が十八日、市陸上競技場を発着

点とするコースで行われ、スタートは日比野賞マラソン大会(愛知陸上競技協会、豊橋市、中日新聞社主催)と第二十五回中日豊橋ハーフマラソン大会(市、愛知陸協東三河支部、中日新聞社など主催)が十八日、市陸上競技場を発着



日比野賞中日豊橋マラソンコース(—)
中日豊橋ハーフマラソンコース(....)

通行止めの時間帯

区	間	規制予定時刻
豊橋市陸上競技場	下条西交点	9:45-13:20
豊橋市陸上競技場	下条東交点	10:00-13:00
豊橋市陸上競技場	下条東交点	10:15-12:35
豊橋市陸上競技場	下条東交点	10:25-12:30
豊橋市陸上競技場	下条東交点	10:30-12:20
豊橋市陸上競技場	下条東交点	10:50-12:00
豊橋市陸上競技場	下条東交点	10:55-11:55

豊橋市陸上競技場(豊橋市) 9:45-13:20
豊橋市陸上競技場(豊橋市) 10:00-13:00
豊橋市陸上競技場(豊橋市) 10:15-12:35
豊橋市陸上競技場(豊橋市) 10:25-12:30
豊橋市陸上競技場(豊橋市) 10:30-12:20
豊橋市陸上競技場(豊橋市) 10:50-12:00
豊橋市陸上競技場(豊橋市) 10:55-11:55

大会に合わせ、出場者の心停止による突然死を防ぐため自動体外式除細動器(AED)二十台が初めて用意され、救命ボランティアが沿道で待機する。

ボランティアは、AEDを扱うことのできる消防職員や医師、学生ら計七十二人。コースの一

大会に合わせ、出場者の心停止による突然死を防ぐため自動体外式除細動器(AED)二十台が初めて用意され、救命ボランティアが沿道で待機する。

ボランティアは、AEDを扱うことのできる消防職員や医師、学生ら計七十二人。コースの一



オレンジ色のジャンパーを着たスタッフが、AEDの目印を胸に押しつけて、呼び掛けの声をかける。二十台は市内の病院やメーカーの協力で集められた。

20カ所にAED用意

おきの二十カ所を待機する。二十台は市内の病院やメーカーの協力で集められた。

同日午前九時四十五分

日比野賞 独自に考案した走法の普及に努め、「マラソン王」とたたえられた稲沢市出身の県第一中学校(現旭丘高校)元校長、日比野寛氏(1866-1950年)をしのび、第9回大会から

賞を制定、優秀選手へ贈っている。マラソン大会は、かつて名古屋一小牧間で開かれていたが、白動車の増加に伴い運営が難しくなり、69年に東三河に移った。

二月十八日に開催された東京マラソンでは、二人がゴール前で倒れて心肺停止状態となったが、AEDなどの処置で一命をとりとめた。